

⑤ 情報を共有し課題意識を持って取組むことができる協働体制作り。

【教務課】

- ・ 考査ごとに成績処理の手順書を加筆・修正している。
- ・ 内規の見直しをおこなった。

【生徒課】

- ・ 部顧問会議の実施（1回）

【進路課】

- ・ 進路課会議を 25 回、3 年団との合同会議を週 1 回程度行っている。
- ・ 進路通信 31 号発行した。

【厚生環境課】

- ・ 1 年次生へ生活アンケートを 7 月に実施、結果を 10 月に職員研修で報告。

【各年次団】

- ・ 1 年次団会議 10 回実施、生徒の情報交換を行う。
- ・ 2 年次団会議 6 回実施、学年だよりを 4 回発行。
- ・ 3 年次団会議 6 回実施、進路課との連絡会は毎週。

【家政科】

- ・ 家政科会議 26 回実施、家政科通信 5 号発行、家政科会実施（3回）

【全体】

- ・ 【教科フォロー会】

国語科 7/29,地歴科 7/27,数学科 8/19,理科 7/28,保体科 7/23,英語科 8/25,家庭科 7/27 に実施。

教科目標に対する教科と各教員の取組み、教科としての課題、日頃困っていることなどを 2 時間程話し合う。

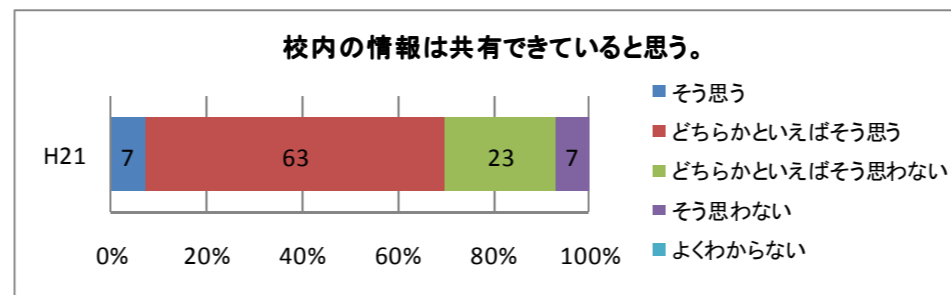
- ・ 【校務分掌フォロー会】

教務課 11/17,総務企画課 11/18,進路課 11/13,生徒課 10/14,厚生環境課 12/11,文化課 10/28,年次主任 12/8

校務分掌目標に対する課と各教員の取組み、課としての課題、日頃困っていることなどを 1 時間程話し合う。

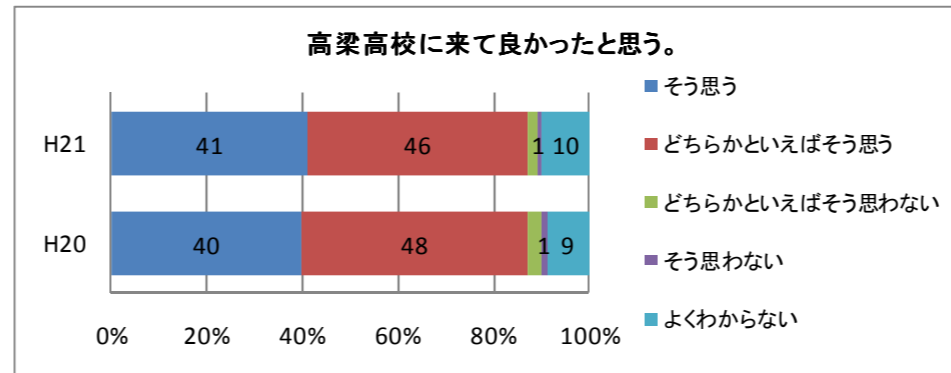
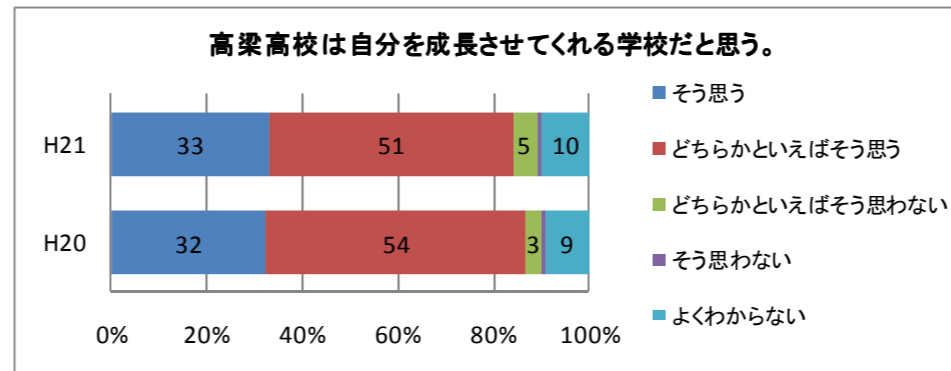
- ・ 情報の共有、会議の持ち方・進め方について資料配付と説明

【教職員アンケート】 H21 ; 30 名



- ・ 本校では全般的に情報の共有はなされている。
- ・ 校内の必要な情報は共有できている。他学年のことはわかりにくい。
- ・ 「休学します」の連絡だけでなく、理由とか途中経過がなかった。
- ・ 課内において情報の流れがなく、管理職の意図が我々に伝わりにくい。
- ・ 非常勤教員への連絡はなされていない。

【生徒アンケート】 H20 ; 561 名 H21 ; 519 名



【具体的な取組の方向】

- ・ 内規、申合せ、各種マニュアルの内容を見直し、整理する。
B (教務課)
- ・ 部顧問会議を開催する。
C (生徒課)
- ・ 進路通信を発行して、情報の共有を図る。
- ・ 進路課会議で、課題と対策を検討する。
B (進路課)
- ・ 1 年次生へ生活アンケートを実施し実態を把握する。
A (厚生環境課)
- ・ 家政科通信を発行し、生徒や教員へ情報の提供をする。
B (家政科)